

放射線教育用実験セットの使用上の注意事項

放射線教育用実験セットは、看護系の大学、短期大学、専門学校などにおける放射線教育への取り組みとして無料貸出ししております。放射線看護の教育にお役立てください。

本実験セット中の密封線源 (^{133}Ba) は、「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」で定める下限数量（規制対象下限値）以下の密封された放射性同位元素で、規制の対象にならないものです。

なお、使用に当たっては下記注意事項を確認し、十分理解した上で使用して下さい。

記

1. 密封線源および放射線測定器の取扱いについて

- (1) 取扱いは、当協会の放射線教育研修会又は同等の研修会等に参加して密封線源と放射線について十分な知識及び技能を有する人が行って下さい。
- (2) 密封線源は放射線を放出しています。放射線が不必要に人体にあたるのは避けて下さい。
- (3) 使用に当たっては、取扱責任者（監督者）の指示に基づき、正常な使用状態で使用して下さい。特に次のことに注意して下さい。
 - 1) 落下、打撃、圧迫、加熱、冷却等による衝撃を与えないよう十分注意して下さい。また、分解しないで下さい。
 - 2) 常に目に見えるところで使用して下さい。
 - 3) 実験途中で席を離れる時は、机の上に放置したままにしないで下さい。
 - 4) 密封線源は測定の直前に学生に渡し、取扱い時間をできるだけ短くして下さい。
 - 5) 実験が終了したら直ちに回収して、線源の個数、放射線測定器の台数を確認して下さい。
 - 6) 密封容器が破損した場合又は破損のおそれがある場合は、汚染が広がらないようにポリエチレン袋等に封入し、直ちに当協会の貸出担当まで連絡して下さい。
 - 7) 放射線教育目的の実験以外には使用しないで下さい。
 - 8) 密封線源は、放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律で規制される「放射性同位元素」ではありませんので、講義室、実習室で使用できます。

2. 保管について

- (1) 使用しない時は、紛失、盗難の無いように運送用ケースに収納し、施錠等十分な保管管理を行って下さい。
- (2) 他人へのまた貸しをしないで下さい。

3. 返却について

- (1) 返却の期日を必ず守って下さい。
- (2) 返却用の資材は、お送りした段ボール箱、容器、緩衝材などを使用して下さい。
- (3) 「放射線教育用実験セットの返却について」(チェックシート)のチェック項目に従って最終確認を行ってください。
- (4) 返却は、宅配便などをご利用ください。「発払い」伝票で当協会の貸出担当までお送り下さい。

4. 故障、損傷、紛失等について

万一貸出物件に故障、損傷、紛失等が生じた問題には、直ちに当協会まで連絡して下さい。貴校の責任のもと、原状回復に向けた対応の相談を致します。

5. 連絡先について

疑問等が生じた場合は、当協会の貸出担当まで、速やかにご連絡下さい。

以上

(連絡先・貸出担当)

〒113-8941

東京都文京区本駒込2-28-45

公益社団法人 日本アイソトープ協会

学術振興部学術課 実験セット貸出担当

TEL 03-5395-8082

FAX 03-5395-8053

E-mail : gakujutsu@jrias.or.jp